

WINDOW

国際ふれあい広場2023



2024
Spring
No.80

- 当協会実施事業の紹介
 - 国際ふれあい広場 2023
 - 高知県韓国全羅南道学生交流プログラム
 - 日本語ボランティア養成講座フォローアップ研修
 - 日本語教室の地域活動
 - 地域日本語教室・日本語サロンマップ(改訂版)
 - 多文化共生講座(イブニングセミナー・ミニ講座)
 - 親子で学ぶ国際理解講座
 - 語学ボランティア通訳翻訳講座
- INFORMATION BOARD
 - 新スタッフ紹介・CIR着任挨拶
 - 使ってみよう! やさしい日本語⑥

国際ふれあい 広場2023 開催しました



事業名:国際ふれあい広場inこうち開催事業



【国際ふれあい広場2023】

- 日時:2023年11月19日(日) 10:00-16:00
- 会場:ひろめ市場よさこい広場・大橋通商店街(北側)・オーテピア4階(研修室・集会室)
- 出展団体:(公財)高知県国際交流協会、ココフォーレ(高知県国際交流協会-高知県外国人生活相談センター)、JICA四国センター、高知県(文化国際課)、にほんごサロンズ、在高知インドネシア人会、学校法人龍馬学園、オイスカ高知県推進協議会、オーテピア高知図書館、高知SGG善意通訳クラブ、特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク、高知県フラ協会、NPO高知県日中友好協会、高知県日中友好中国帰国者の会、よさこい国際交流隊、高知大学国際協力団体すきづぶ、日中友好協会-太極拳教室、Sunsun先生の日本語、高知県青年団協議会(多文化共生まちづくり委員会)、グアテマラ生産者支援ネットワークみるば、デルタ・カップ・ガンマ:ジャパンステイト、フォンバインミー、奥村多喜衛協会
- 主催:公益財団法人高知県国際交流協会
- 共催:独立行政法人国際協力機構JICA四国センター、高知県、オーテピア高知図書館(高知県立図書館・高知市立市民図書館)
- 後援:高知県、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、(株)エフエム高知、高知ケーブルテレビ(株)、高知新聞社、朝日新聞高知総局、読売新聞高知支局、毎日新聞高知支局、日本経済新聞高知支局

今年、ひろめ市場よさこい広場・大橋通商店街(北側)・オーテピア4階(研修室・集会室)の3会場で開催となりました。近隣で他イベントが開催されていたこともあり、昨年度よりも多くの方にご来場いただき、来場者数は14,200人となりました。

「高知の 多文化共生を ひろげよう!」をテーマとし、県内の国際交流・協力に関する活動をしている全24団体による飲食提供、パネル展示、事業・活動紹介、ワークショップ、歌や踊りのパフォーマンスを通して、高知で多文化を感じてもらえるようにしました。

出展ブースは、フェアトレードの雑貨や民芸品販売、飲食の提供・販売、地域の日本語サロンや外国にルーツのある刺繍の塗り絵等の体験型ワークショップ、各団体による事業・活動紹介、パネル展示等を行いました。ステージ上では、外国にルーツのある歌や踊りの披露、高知の文化であるよさこい鳴子踊り披露や来場者も参加できる形のワークショップを開催しました。

国際ふれあい広場2023を通して、高知の国際交流や国際協力、多文化共生を知るきっかけとなりましたら幸いです。来年度も県民のみならずが楽しめる内容にできるよう、準備を進めていきたいと思っております。
みなさま、来年も国際ふれあい広場でお会いしましょう!



山崎 春菜 やまさき はるな 高知県立窪川高等学校 2年



今回このプログラムでたくさんの異文化に触れることができました。食文化、マナー、学習内容や高校の校則など自分の学校、日本の学校と本当に違って驚きました。はじめは緊張しましたが、翻訳機を使って沢山のひとと交流することができました。韓国の学生も優しく友好的に話しかけて来てくれました。日本の学生像とはかけ離れていて、その違いを実際に見るのが楽しかったし、校則のことについて学生同士で話し合うのがとても新鮮で楽しかったです。学生同士流行りの話題でたくさんお話ができました。韓国のお菓子や手紙をプレゼントしてもらいました。日本のお菓子もプレゼントしたら、とても喜んでくれて嬉しかったです。日本語を学んでいない学生と交流する機会もありました。その時は言語関係なくみんなが楽しめるスポーツをしました。実際言葉を話さなくてもハイタッチなどをするので、すぐ仲良くなれました。

韓国の大学生との交流する際には、ペアになった大学生さんに兵役に行ったときの話を聞かせてもらいました。日本ではありえない兵役という文化を実際に体験した人から話を聞くことで、兵役の怖さや文化の違いが身にしみてわかりました。田内さんのことや共生園のことについても詳しく知れました。田内さんの「梅干しが食べたい」というセリフがとても心に残っています。国が違っても、非難されても子どもたちを愛した尊敬される木浦の母、田内さんについての資料やお話を実際に見て聞けたことが本当に嬉しかったです。

今回のプログラムで、韓国の学生だけでなく国際交流協会の吉村さんや翻訳をしてくださった李朗さんなど、沢山の方々と関わることができました。このプログラムで学んだことは、韓国の文化はもちろん、コミュニケーションを取る上でジェスチャーなどを使い話しかけ会話をすることの大切さです。今回仲良くなれた韓国の方々と今後も友好的な関係を続けていきたいです。来年韓国の学生が窪川高校に来ることがあれば、今回の経験を活かし仲良くなりたいです。このような貴重なプログラムに参加できたことが光栄ですし、学んだ知識を他の場所で活かしていきたいです。



令和5年度高知県韓国全羅南道学生交流プログラム

事業名: 友好姉妹都市学生等交流推進事業

主催: 公益財団法人高知県国際交流協会

当協会主催の本プログラムは、高知県と韓国全羅南道の青少年交流を目的とし、平成28年度から両県道の高校生が交互に訪問しています。今年は5年ぶりに、韓国全羅南道を訪問しました。現地では高校や大学を訪問し、学生同士は言語だけでなく、様々な方法を駆使しながらコミュニケーションを取り、対面での交流を図っている様子が見られました。

また各地域を訪問・視察させていただき、温かい人々と、美しい自然・食の宝庫といわれる全羅南道の魅力をたっぷりと感じられるプログラムとなりました。高知県を代表し派遣された学生5名の感想や写真をご覧ください。

●実施目的: 高知県の姉妹交流都市である韓国全羅南道において、青少年の交流プログラムを実施し、各地への訪問や青少年同士の交流を経験することで国際感覚の醸成を目的とする。将来的に、高知県と全羅南道の交流に貢献できる人材の育成を目指す。

●ミッション: ①高知とつながりの深い全羅南道をよく理解すること。②青少年同士の交流を理解し、国際コミュニケーション力を身に付け、異文化を尊重し理解すること。③交流をきっかけに友人関係を構築し、今後も交流を継続していくこと。

●実施日: 令和5年(2023)8月24日～8月30日

●参加者: 計8名 内訳: 高知県立窪川高等学校(生徒5名、引率者として学校長1名)、通訳者1名(高知県国際交流員)、当協会職員1名

日	スケジュール
8月24日	出発式、高知龍馬空港～羽田空港～韓国・金浦国際空港着、高速鉄道(KTX)でソウル～木浦市到着
8月25日	全羅南道庁訪問、ナマク高校で交流、木浦共生園訪問・交流、木浦海上ケーブルカー体験
8月26日	ナガンウッソン散策、スンチョン大学校訪問・交流、スンチョン庭園博覧会訪問、ヨスチャレンジパーク体験
8月27日	ソンドン天使壁画村散策、オドンド散策、ポソン韓国茶博物館訪問、大韓茶園訪問
8月28日	和順高校訪問・交流、和順赤壁訪問、タミョン竹緑苑散策
8月29日	木浦近代歴史館訪問、高速鉄道(KTX)で木浦市～ソウル特別市到着、ソウル明洞エリア散策
8月30日	金浦国際空港～羽田空港～高知龍馬空港着、解散式



島岡 周平 しまおか しゅうへい 高知県立窪川高等学校 2年

自分自身初の海外への渡航で現地の人たちと仲を深めることができるのか不安でしたが、初日に木浦駅に到着した際の、日本語でのアナウンスが自分達を歓迎してくれているように思えて胸が軽くなりました。お店や街の人々は挨拶やお礼を言う笑顔で対応してくれ、日本人が過去に起こした韓国人への差別や支配を許し、友好の手を差し出してくれるように思えました。学生交流ではナマク高校は私たちのためにお菓子や手作りのストラップなど最大限のおもてなしをしてくれ、和順高校では前日から食べ方を教わり、冗談を言い合いながら一緒に食事を楽しみました。何より日本のアニメやスポーツの文化を嬉しそうに話してくれたおかげで、こちらも緊張せずに自己紹介や自分たちの高校をプレゼンテーションすることができました。互いの文化が生活に浸透していたおかげで共通の話題で盛り上がることができ、心の底から楽しく、笑顔で交流することができたと思います。SNSでもたくさんの生徒と繋がれたため、お互いがお互いの国を訪れた時また会えるように交流を続けていきたいです。またこの体験を日本の友達にも伝えて交流の輪を広げていきたいとも思います。

韓国の食事は初日こそ辛さになれず、体調を崩してしまいましたが、味付けが日本人好みの甘辛い味がベースで口に合い、思っていた海外の食事とは違いました。また木浦の自然が豊かで、水産物が美味しい事で有名だったのもあり、ただ茹でただけのものや塩焼きでも日本の食べ物と同じか、それ以上に美味しく感じました。国産と海外産で食べ物を区別して考えていた自分には、韓国の食材のレベルの高さが分かった時は衝撃を受けました。また辛さになれた後は食事を毎回しっかり摂ることができたおかげで、初日のような体調不良がなく、活力のある状態で行動することができたことから、旅先での食事が口に合うかどうかは今後海外旅行をする際に一つの条件になるなと、食の大切さに気づきました。



谷口 四季 たにくち しき 高知県立窪川高等学校 3年

韓国の方の温かさや思いやりを強く感じた一週間でした。お土産屋へ行った際、いくつも試食を出して頂いたり、お茶を頂いたことが本当に嬉しかったです。気持ちが慣れない土地に来て回っていたわたしの心を包んでくれました。現地の高校や大学を訪問させていただいた際には、心の底からの歓迎を感じました。韓国ドラマやK-POPアイドルの先入観からか、私は韓国の方々に対し大人びたイメージをもっていたため緊張していました。けれども実際に話してみるとこぼれが違っただけで興味や関心の矛先は同じだったのだ、楽しい時間を過ごす事が出来ました。文化の違いに戸惑っていたら、快く教えてくれました。言葉が通じにくい環境の中、私は表情の大切さに気づきました。普段表情が乏しい自覚があるけれど、表情だけでも十分に伝えたい事は伝える事が出来たと気づきました。短い時間でしたが分かりあえたような、気持ちが通じ合ったような、そんな気がしてこれからもずっと私の心に残り続けます。

木浦近代歴史で韓国の歴史を学んだ際ガイドの方に、歴史は見方や視点によって変わる、という事を教えていただきました。この言葉が何故か私の中を永遠にめぐり続けています。日本に帰国してからもこの言葉が忘れられずにいます。これまで私是一方からでしか見ることが出来ていなかったことに気づきました。表があるのなら裏もある事を知りました。韓国との交流事業を通して、目標であった「人と積極的に関わっていく」という事を達成できたのではないかと考えています。そして韓国について、韓国と高知県の繋がりについても学びました。物事を多角的に見てみるという姿勢は、これからの私の手助けをしてくれると思います。一週間で感じた事、学んだものを大切に、記憶から消えていかなないようにたまに思い出しながらこれからも頑張ります。



山下 芯巴 やました しんば 高知県立窪川高等学校 2年

コミュニケーションは割と積極的にとれたと思うので良かったです。英語も文法が合っている気はしますが、とにかく喋ると言いたいことが伝わったのでとても嬉しかったです。韓国の高校生が上手な日本語を話していたので驚きました。選択科目で日本語を選んでいる人や、違う言語を選んでいるがアニメで日本語を覚えたという人が多くいて、どこか嬉しかったです。日本の高校生は言語が分からないと引きがちですが、韓国の高校生はグイグイ来たのでおもしろかったです。ただ、僕がアニメや漫画を見ないので、派遣団の他の人と比べて話題づくりが少し難しかったです。韓国での日常生活や街のことについて気になっていたのも、僕なりに会話を継続させることもできました。日本人より大きなリアクションをとってくれるので、ささいなことでも話しやすかったですし、隣の国ですが外国人となると性格も変わるのかなと思いました。それと、木浦共生園の子もたちで、自分たちは韓国語が分からず、相手は日本語を知らないという言語のコミュニケーションが絶望的でも身振り手振りでやったり遊びで笑いを共有できたのが心に残りました。

また現地の人に馴染みかかったのも、コンビニでおにぎりを買うと、普通のツナマヨとピビンパ味で普通に美味しかったのが嬉しかったです。もしこれがご飯が用意されている今回のようなツアー旅行ではなく、個人の旅行だと自分でご飯以外にもいろいろと確保しなければならないので、そのためにはと考えると、とりあえず買ってみるという精神も大切だなと感じました。



長山 莉央 ながやま りお 高知県立窪川高等学校 3年

今回韓国のプログラムで初めて異国の地へ行き、日本では味わえないような事ばかり体験することができました。私が一番文化の違いを感じたのは、食事です。料理を食べる時、お皿を持って食べないことや料理を頼んだ際におもてなしでたくさんの漬物などの副菜が出てくることです。あとは韓国では料理を残すことが「お腹いっぱいいただきました」という意味になるというところも、日本とは違うと感じました。そして、木浦共生園に行き田内千鶴子さんの生い立ちについて学びました。田内千鶴子さんは、旦那さんと共に孤児救済のために共生園で働き、朝鮮戦争で旦那さんが行方不明になっても孤児救済のために尽くして、多くの孤児を守り育てていました。田内千鶴子さんが亡くなった時は、3万人ほどの方々が登場し、この日の新聞では「この日の木浦は泣いた」と書かれていたそうです。

木浦共生園に行き、田内千鶴子さんが孤児のために何があっても守ろうとする行動力が素敵だと思いました。日韓の架け橋となった田内千鶴子さんを私は日本人として誇りに思いました。誰かのために何か自分が出来ることをする、という生き方の素晴らしさを知りました。韓国での交流を経て、韓国の高校生との交流ではコミュニケーションを自分から進んで取ることもでき、これまでの自分の殻を破ることが出来ました。また、韓国にある歴史的な場所に行くことができたことで、韓国のことを今までよりも知ることが出来ました。今回このような機会を頂いたことに感謝し、これからの自分の糧にしていきたいです。

日本語ボランティア養成講座 フォローアップ研修 in香南市

事業名:高知県地域日本語教育推進委託業務

- 開催日:令和5年8月6日(日) 10:00~12:30
- 会場:のいちふれあいセンター(香南市野市町西野534-1)
- 主催:高知県(文化国際課)
- 共催:香南市教育委員会
- 事務局:公益財団法人高知県国際交流協会



本研修は、香南市が実施主体の「こうなんにほんごサロン」(令和4年10月開設)で活動する日本語ボランティアや、日本語教育等の活動に興味・関心のある方を対象としました。講師として今井多衣子氏(高知県地域日本語教育コーディネーター、以下県地域Co)、ファシリテーターとして尾中美代子氏(県地域Co)、国沢由美子氏(高知日本語サロン所属)にご協力いただきました。計21名(内、受講者12名、関係者9名)が参加した。

前半は香南市から香南市在住外国人の状況、活動実績等について発表、その後今井講師による講義がありました。今井講師による講義を通して、今後日本語ボランティアが進んでサロンの内容や当日スムーズにサロン活動ができるようテーマ決めやサロン内容作成をし、当日運営の流れ等を学ぶことができました。

後半ワークショップでは、学習者役と日本語ボランティア役に分かれ、その際の対応や学習補助を実践しました。入門~初中級レベルの学習者に対して、やさしい日本語を意識し話をすることや、同サロン内で日本語レベルが異なる学習者が参加した際の対応策等も学ぶことができました。

講義やワークショップを通し実際のサロン活動を想像しながら、普段の活動で感じていることを学び直すことができました。今回ボランティアとして長年活動してきた方がボランティアの先輩としての目線で関わることで、より身近に感じられ、互いに情報共有できる研修の機会にもなりました。



日本語教室の地域活動

私たちが当たり前だと思っていることは、日本文化や社会のストック情報が十分でない在住外国人の方にとって分からないことが多いです。必要な情報を得られることは、新しい気付きや発見・学び、そして安心かつ安全な生活や仕事へと繋がります。

当協会直営の日本語教室(対面とオンライン)では、日本語学習だけではなく、公共サービスや災害・防災の学習等を通し、地域住民同士が互いに学び・交流する機会提供として「地域活動」を実施しています。“やさしい日本語”が共通言語です。

日本語教室の対面形式で12回、オンライン形式で4回とし、合計16回の地域活動を実施しましたので、ご紹介します。



対面形式

①オーテピア高知図書館利用学習会

実施日:令和5年7月26日
 場所:オーテピア高知図書館
 協力者:オーテピア高知図書館(多文化サービス担当司書)、日本語講師
 学習者:12人(イギリス、アメリカ、ミャンマー、インドネシア、インド、モロッコ)



②防災学習会

実施日:令和5年7月27日、10月4日
 協力者:フタガミ防災アドバイザー(フタガミ株式会社)、高知県(危機管理・防災課、文化国際課)、日本語講師
 場所:当協会フリースペース
 学習者:17人(イギリス、アメリカ、ミャンマー、インドネシア、インド、モロッコ、アルゼンチン、パラグアイ、フィリピン、ネパール)



③日本語教員養成課程の教育実習受入(高知大学人文社会科学部)

見学実施日:令和5年11月1日、2日、8日、9日、15日、16日
 教育実習日:令和5年12月6日、14日
 協力者:日本語教員養成課程履修中の実習生(高知大学3回生)、KIA登録学生ボランティア、日本語講師
 学習者(実習日):13人(カンボジア、ミャンマー、中国、イギリス、アメリカ、モロッコ、インド、インドネシア、オーストラリア)



④ポットラック・パーティー

*ポットラックとは、“あり合わせの料理”という意味で、料理や飲み物を持ち寄り食べるアメリカ式のカジュアルなパーティーのこと。今回は、日本語講師や学習者、ボランティア等と飲食の持ち寄りにより交流を図った。
 実施日:令和5年12月18日
 協力者:日本語講師、KIA登録日本語ボランティアと学生ボランティア
 学習者:7人(フィリピン、ベトナム、オーストラリア、ミャンマー、台湾)

オンライン形式

①ココフォーレ紹介

実施日:令和5年7月24日、26日
 協力者:ココフォーレ相談員(当協会の高知県外国人生活相談センター)、KIA登録学生ボランティア、日本語講師
 参加者:9人(バングラディッシュ、アメリカ、タイ、フィリピン)

②防災学習会

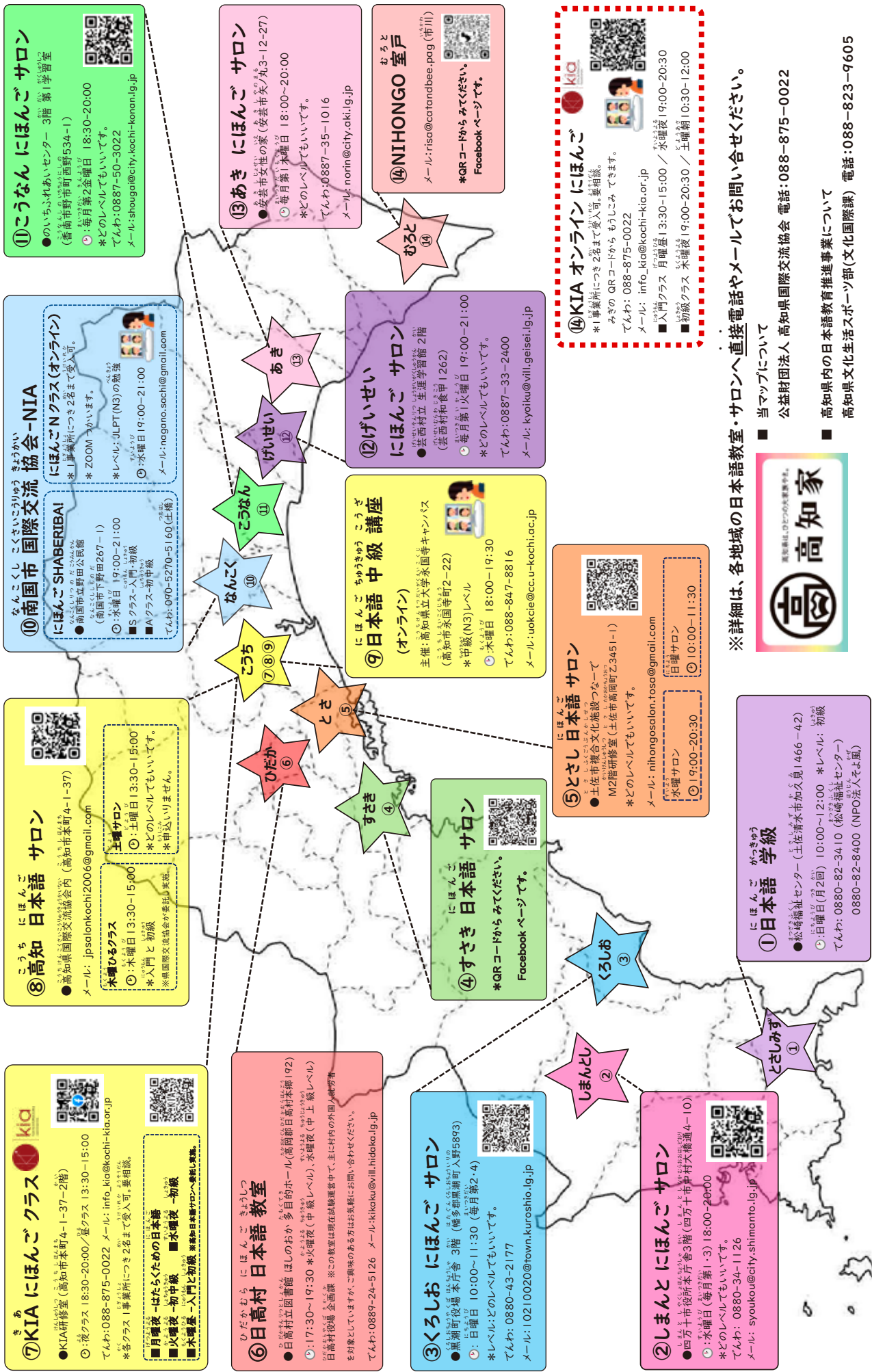
実施日:令和5年10月19日、21日
 協力者:日本語講師、KIA登録学生ボランティア
 参加者:9人(アメリカ、パラグアイ、モロッコ、タイ、ブラジル)





こうちけん にほんご きょうしつ にほんご

高知県 日本語教室・日本語サロンのマップ (2023年10月現在)



⑦ KIA にほんごクラス

- KIA研修室(高知市本町4-1-37~2階)
- 夜クラス 18:30~20:00 / 昼クラス 13:30~15:00
- てんわ: 088-875-0022 メール: info_kia@kochi-kia.or.jp
- *各クラス1事業所につき2名まで受入可。要相談。
- 月曜夜 - はたらきのための日本語
- 火曜夜 - 初中級
- 水曜夜 - 初級
- 木曜夜 - 入門と初級

⑧ 高知 日本語 サロン

- 高知県国際交流協会内(高知市本町4-1-37)
- メール: jpsalonkochi2006@gmail.com
- 水曜サロン
- 土曜日 13:30~15:00
- *どのレベルでもいいです。
- *入門と初級
- ※国際交流協会が委託し実施。

⑩ 南国市 国際交流協会-NIA にほんごNクラス(オンライン)

- *1事業所につき2名まで受入可。
- *ZOOM つかいます。
- *レベル: JLPT(N3)の勉強
- 水曜日 19:00~21:00
- メール: nagano.sachi@gmail.com
- Sクラス
- Aクラス-初級
- てんわ: 090-5270-5160(生橋)

⑪ こうなん にほんご サロン

- のいちふれあいセンター 3階 第1学習室(香南市野市町西野534-1)
- 毎月第2金曜日 18:30~20:00
- *どのレベルでもいいです。
- てんわ: 0887-50-3022
- メール: shougai@city.kochi-kochi-nomami.lg.jp

⑥ 日高村 日本語 教室

- 日高村立図書館 ほしのおか 多目的ホール(高岡郡日高村本郷92)
- 17:30~19:30 *火曜夜(中級レベル)、水曜夜(中上級レベル)
- 日高村役場企画課 ※この教室は現在試験運営中、主に村内の外国人観光客を対象としています。ご希望のある方はお気軽にお問い合わせください。
- てんわ: 0889-24-5126 メール: kihakuka@vill.hidaka.lg.jp

③ くろしお にほんご サロン

- 黒潮町役場本庁舎 3階(高知県黒潮町入野5893)
- 日曜日 10:00~11:30 (毎月第2・4)
- *レベル: どのレベルでもいいです。
- てんわ: 0880-43-2177
- メール: 10210020@town.kuroshio.lg.jp

② しまんと にほんご サロン

- 西方十市役所本庁舎3階(西方十市伊予村大崎通4-10)
- 水曜日(毎月第1・3) 18:00~20:00
- *どのレベルでもいいです。
- てんわ: 0880-34-1126
- メール: syoukou@city.shimanto.lg.jp

④ すさき 日本語 サロン

- QRコードからみてください。
- Facebook ページです。

⑤ とさし 日本語 サロン

- 土佐市複合文化施設つなにて M2階研修室(土佐市高岡町3451-1)
- *どのレベルでもいいです。
- メール: nihongosalon_tosa@gmail.com
- 水曜サロン
- 19:00~20:30
- 日曜サロン
- 10:00~11:30

⑨ 日本語 中級 講座 (オンライン)

- 主催: 高知県立大学外国語学舎
- (高知市永国寺町2-2)
- *中級(N3)レベル
- 水曜日 18:00~19:30
- てんわ: 088-847-8816
- メール: uokkie@cc.u-kochi.ac.jp

⑫ げいせい にほんご サロン

- 芸西村立生涯学習館2階(芸西村和食申1262)
- *毎月第1火曜日 19:00~21:00
- *どのレベルでもいいです。
- てんわ: 0887-33-2400
- メール: kyoku@vill.geisei.lg.jp

⑬ あき にほんご サロン

- 安芸市女性の家(安芸市美々丸3-12-27)
- 毎月第1水曜日 18:00~20:00
- *どのレベルでもいいです。
- てんわ: 0887-35-1016
- メール: norin@city.aki.lg.jp

⑭ NIHONGO 室戸

- メール: risa@cartandbee-pag(市川)
- *QRコードからみてください。
- Facebook ページです。

⑭ KIA オンライン にほんご

- *1事業所につき2名まで受入可。要相談。
- みぎの QRコードからみてください。
- てんわ: 088-875-0022
- メール: info_kia@kochi-kia.or.jp
- 入門クラス 月曜日 13:30~15:00 / 水曜日 19:00~20:30
- 初級クラス 木曜日 9:00~20:30 / 土曜日 10:30~12:00

① 日本語 学級

- 松崎福祉センター(土佐清水市加久見1466-42)
- 日曜日(月2回) 10:00~12:00 *レベル: 初級
- てんわ: 0880-82-3410(松崎福祉センター)
- 0880-82-8400(NPO法人そよ風)

※詳細は、各地域の日本語教室・サロンへ直接電話やメールでお問い合わせください。

- 当マップについて
公益財団法人 高知県国際交流協会 電話: 088-875-0022
- 高知市内の日本語教育推進事業について
高知県文化生活スポーツ部(文化国際課) 電話: 088-823-9605



多文化共生講座

令和5年度 多文化共生講座 イブニングセミナー

- 日時: 令和5年7月11日(火) 17:30~19:00
- 場所: 高知県人権啓発センター6F ホール
- 参加者: 32名(会場22名+オンライン10名)
- 講師: 田村 太郎(ダイバーシティ研究所 代表理事)



多文化共生について経験豊富な田村太郎さんを講師にお迎えし、多文化共生の歴史や成り立ち、背景、現状の課題などを、様々な実例をもとに詳しく教えていただきました。講師のわかりやすく楽しい説明で、多文化共生とは外国人のためだけのものではなく、日本の地域の未来のための取組であることも実感を持って理解することができました。最後に参加者どうしで感想や課題などを話し合い、発表もしました。会場参加できない遠隔地や県外の方たちには、オンラインで聴講していただきました。参加者からは、「伝わる、伝わらないことについて考えるきっかけになった」「改めて地域で顔が見える関係を作ることが重要だと思った。防災はいいきっかけだが地域からの取組が必要不可欠」「多文化共生に関する根本的な考え方や、実際に外国人の方が直面する困難について、具体的な事例を交えながらわかりやすく解説してくださった」「とても分かりやすかった」「多文化共生についての理解が深まった」「またこのようなセミナーに参加したい」「受け入れる側のトレーニングの機会がない」ということがヒントになった。自分の業務に生かしたいなどの感想をいただきました。



令和5年度 多文化共生ミニ講座 アルゼンチン・パラグアイ・フィリピンの文化紹介

- 日時: 令和5年12月1日(金) 14:00~15:30
- 場所: KIAラウンジ ● 参加人数: 15名
- 講師: 文野 柊樹(アルゼンチン)、池内 圭奈美(パラグアイ)、マラド マージンティエーナ(フィリピン)、KIA学生ボランティア: 山下小夏さん

高知県が受け入れている南米とフィリピンからの研修員を講師に、多文化共生ミニ講座を行いました。

参加者は3つのテーブルに分かれて、それぞれの国の発表を約25分程度ずつ聞いた後、次の国へ移動し、3つの国の発表を聞きました。南米とフィリピンの文化や習慣、自然、食べ物などについてスライド等の紹介を見た後、それぞれの国の言葉を習ったり、自由に質問で交流したり、あちこちで笑い声があがり盛り上がりしていました。

南米のふたりは、祖父母が高知出身の日系人です。日本語での説明を頑張っていました。フィリピンの研修員は主に英語で発表し、学生ボランティアの通訳もありましたが、参加者が英語で質問や説明をするなど英語交流の場にもなりました。

参加者のみなさんから、たくさんの感想をいただきました。

- たくさん知らないことを聞いてとても楽しかったです。
- 良かった！
- スライドもみなさん母語と日本語で上手に作っていて、いつか行ってみたいなあと思いました。
- いろいろと文化や食べ物、観光地を知ることができて楽しかったです。
- 参加者の皆さんも行ったことや食べたことがあるなどと経験をシェアしてくださったので、私も行ってみたい、食べてみたいなあと思いました。
- いろんな国のことを知れて、また来たいと思いました。素敵なイベントをありがとうございます。
- とても楽しかったです。各国でおいしそうなお料理の紹介があったとてもおなかがすきました。
- パラグアイのテレシ、名前もかわいくて飲んでみたい。
- フィリピンのValley Of Colorsに行ってみたい。
- HALO HALOとか、KARE KAREおいしそう
- またぜひ参加したいです。
- 3か国それぞれの特徴が知れて楽しかったです。いつか訪れたい気持ちが高まりました。
- 一生懸命日本語で伝えようと頑張っている姿に感動しました。
- 各国の言語を学べて有意義でした。



令和5年 親子で学ぶ国際理解講座 中国編

- 日時:令和5年8月15日(火) 小学生親子5組12名
- 場所:高知県国際交流協会ラウンジ
- テーマ:世界の季節のイベント・中国編

講師に高知県国際交流員の王沁雨(オウ シンウ)さんと高知市国際交流員の孟如慕(メン ルム)さんをお迎えし、中国のイベント「元宵節(げんしょうせつ)」について学びました。「元宵節」にはたくさんのちょうちんやランタンを飾るそうです。中国クイズなどで中国のことを学んだあとはおりがみで蓮の花ランタンを作りました。



小学生の参加者のみなさんは一生懸命講師の説明を聞きながら折り紙を折り、それぞれが自分だけの色を組み合わせ、オリジナルなランタンを作ることができました。



保護者の方からは、「世界の文化も学べて作品もできるので夏休みの宿題にぴったり」「親子で参加できてとても楽しかった」小学生の皆さんからは「ランタンがかわいくて、工作が楽しかった」「中国のことがよく分かった、勉強になった」「また参加したい」などの感想をいただきました。異文化についての学びや、親子一緒にの工作をととても楽しんでくださったようです。



語学ボランティア通訳翻訳講座

- 開催日:9月10日(日)
- 講師:武庫川女子大学心理・社会福祉学部
教授 国際センター長 吉富 志津代氏
- 参加者:KIAボランティア・ココフォーレサポーター等24名

『多文化社会のコミュニティ通訳・翻訳～双方向のコミュニケーションのためのことば～』をテーマに通訳翻訳講座を開催しました。



阪神・淡路大震災をきっかけにFMわいわいや多言語センターFACILなどの団体設立に携わった講師の豊富なご経験をもとにした講義は、実例が多く具体的で参加者の理解が深まったようでした。

また、地域で暮らす外国人は、隣人であってあつてゲストではない、そのために通訳者としてどうあるべきかを考えるよい機会になったようでした。

新スタッフ紹介

野口 詩乃

はじめまして。令和5年11月からKIAのスタッフとなりました野口詩乃です。イベント等を通して様々な国の方と関わったり、文化を知るお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



着任挨拶

ブイ カイン リン (ベトナム)

初めまして。ベトナム・ハノイ出身のリンと申します。2023年10月から高知県の国際交流員として勤務しています。どうぞよろしくお願いいたします。



日本語の発音がきれいだと思ったので、日本語を勉強し始めました。しかし、日本語が難しいなあと思うています。それでも日本語を続ける理由があります。日本語を通じて、日本人にベトナムの文化を紹介したり、ベトナム語を教えたりすることができるからです。日本人とベトナム人との交流がもっと深まるよう、国際交流員としてもっと頑張ります！

着任挨拶

ジェームズ バンプリッジ (イギリス)

皆さん、はじめまして。イギリスのロンドンから来ました国際交流員の、ジェームズと申します。私は2023年8月9日に、来高しました。



私が日本に興味を持ち始めたきっかけは、ポケモンでした(笑)。とても楽しいゲームだったので、このゲームが作られた所に行きたいなあと思って、中学校に入ってから日本語を勉強し始めました。高知生活の中で、イギリスとまったく違う文化が体験できる毎日は非常に楽しいです。この仕事に携わることによって、二つの国との絆を深めて頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします！

着任挨拶

ジェイコブ ロダー (アメリカ)

みなさん、はじめまして！ジェイコブと申します！8月から高知県庁で国際交流員として働いています。アメリカのノースカロライナ州出身です。この前の数月間いろいろの仕事をしました。仕事は翻訳だけではなく、高知市で開催したINAPの国際会議の通訳や高知県警察本部での英語授業もしました。これからの活躍によって、高知県の国際化に貢献できればうれしいです。ほとんど毎日新しい経験があって、日本での生活が確かに面白いです。よろしくお願いいたします！



使ってみよう！ やさしい 日本語⑥

書く時のコツ① 漢字にはふりがなをふる。

「地震」 「地震(じしん)」
じしん

書く時のコツ② 文節で区切って余白を入れ「分かち書き」にする。

「分かち書き」とは、言葉の区切りに余白を入れる書き方です。

書く時のコツ③ 元号(平成・令和など)は西暦にする。 年月日は「/」を用いない。時間は12時間表記にする。

例：R2/10/28 15:15 → 2020年10月28日 午後3時15分
ねん がつ にち こごし ぶん

書く時は写真やイラストがあるとわかりやすいです。

引用：島根県・(公財)しまね国際センター「やさしい日本語」手引き
弘前大学人文学部社会言語学研究室「やさしい日本語」作成のためのガイドライン